

プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館6階

TEL03 (6261) 9139 FAX03 (6261) 9133

<https://www.precut-kyokai.com>

第17回定時社員総会を開催し、決議を採択しました



【日當会長のご挨拶】

令和8年6月22日（月）、東京都千代田区一番町25全国町村議員会館におきまして、協会の第17回定時社員総会を開催しました。

総会では、日當会長から『新設住宅着工が減少する中で、協会会員の工場が、住宅生産者の方々から選ばれる工場となっていくことが重要です。協会としても、そのために必要な取組を会員各位のご理解ご協力を得ながら行ってまいりたい』といった旨のご挨拶がありました。

また、ご来賓としてご臨席いただいた林野庁木材産業課長間島重道様、国土交通省住宅局木造住宅振興室長大島敦仁様からご祝辞をいただきました。

間島課長からは『森林・林業基本計画を改定し、林業・木材産業の体質強化と、そこで働く方々の所得向上、林業経営の採算性と持続性を高める強靱なサプライチェーンの構築を図り、国産材の安定供給を進めます。サプライチェーン全体で新たな木材利用の果実を受け取っていけるようにしたい。住宅や国産材利用のハブ、要を担うプレカット工場に期待します』といった旨の、大島室長からは「中東情勢で、資材の確保にご苦労されていることと思いますが、農林水産省や経済産業省と連携してモノが流れるよう努力していますのでご理解をいただきたい。また、新築住宅への支援、中高層や非住宅も含めた木材利用促進プロジェクトへの支援に対応していきたい。ライフサイクルカーボン削減の観点から建築物省エネ法を改正し、脱炭素化の取り組みを可視化していくこととしており、良質なプレカット部材の供給は重要となっています」といった旨のご祝辞をいただきました。

議事では、令和7年度事業報告・収支決算の承認、令和8年度会費等の決定のほか、健康上の理由で工藤理事が辞任され、その後任として(株)マルサンの前田英俊氏が選任されました。

また、本総会では初めての総会決議を行いました。中東情勢の影響などから、資材の目詰まりや価格上昇などが懸念される中で、価格転嫁や適正取引を普及するために個々の工場が声を挙げていくことが重要となっています。法律が出来たから、林野庁のガイドラインが出来たから、協会で決めたから、そんな前置きをしなくても、価格交渉の中でこの件を持ち出していきたい。そして皆で普及していきましょう、そんな願いを込めた決議です。会員各位の取組をお願いします。

【第17回定時総会決議】

プレカット工場に係る取引においても、木材の価格転嫁・取引適正化の実現に向けた取組を促進することが必要であることから、協会及び会員が一丸となって、次の事項を当面の重点事項として広く普及・検証していくこととします。

- 1 加工費（坪単価）と資材費・物流費を区分して価格を設定すること
- 2 平屋建てと2階建て等、手間の異なる加工賃（坪単価）は別単価で取り扱うこと
- 3 資材が有償支給の場合は、資材費の早期決済（プレカット部材代金の受取よりも早く、資材費等の対価を支払うこと）は行わないこと

令和7年度会員プレカット工場基礎調査の集計結果（第2回報告）

「令和7年会員プレカット工場基礎調査（令和7年12月末現在）」の集計結果の第2回報告です。
（調査回答数：36社、回収率：71%）
第2回報告では、「木材使用量」、「部位別使用割合」、「CAD業務」について報告します。

【使用木材】

（1）木材の使用量

区 分	使用量①（m ³ ）	割合（%）	工場数②（工場）	割合（%）	①／②（m ³ ／工場）
1万m ³ 未満	60,269	6.0%	10	31.3%	6,027
1万～5万m ³ 未満	309,611	31.0%	16	50.0%	19,351
5万～10万m ³ 未満	161,900	16.2%	3	9.4%	53,967
10万m ³ 以上	466,200	46.7%	3	9.4%	155,400
全体計	997,980	100.0%	32	100.0%	（平均）31,187

（注）「木材の使用量」は令和7年に工場で使用した木材量を記載しました。

（2）部位別の使用割合

単位：（%）

区 分	国産材製材	外材製材	国産集成材	輸入集成材	その他	計
全 体	30.3	24.5	22.1	22.7	0.5	100
うち柱	29.7	3.8	37.9	28.5	0.1	100
うち横架材	17.8	31.2	21.8	29.2	0.1	100
うち土台	61.1	12.8	19.3	6.8	0.0	100
うち間柱	41.9	26.7	18.1	12.4	0.9	100

（注）「国産集成材」は、そのラミナが国産材であるか否かにかかわらず集計しました。

（3）合板等面材の使用割合

単位：（%）

国 産 構造用	輸 入 合 板	国 産 LVL	輸 入 LVL	OSB	MDF	石膏ボード	その他	計
83.7	1.0	0.3	0.0	0.9	5.4	6.0	2.6	100

【CAD業務】

（1）CADソフトメーカー毎の保有する工場数と台数

ソフトメーカー	工場数	保有台数	割 合
ネットイーグル	18	408	44.4%
宮川工機	21	336	36.6%
TOA	6	116	12.6%
その他	4	59	6.4%
計		919	100.0%

（注）①対象は35工場

②複数のソフトを保有する工場がある

（2）CADが出来る営業職の有無

35工場のうち16工場で在籍

	人数(人)	割合
営業職の数	193	
うちCADが出来る	52	26.9%

（注）「割合」は営業職に占める割合

（3）外国で行う CAD 業務（単位：工場）

- ① 外国でCAD業務を行う会社 11／35工場中
- ② CAD業務の内容（以下複数回答） 営業CAD：6、加工CAD：9
- ③ 現地の業務形態 直営：3、系列：3、外部：6
- ④ 実施国 中国（5）、ベトナム（7）、インドネシア・パラグアイ・ミャンマー・タイで各1

プレカット業況調査 (令和8年5月期)

(一社) 全国木造住宅機械プレカット協会会員調査 (回答率: 52%)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回 DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	27	50	23	+4	-46
1-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	19	46	35	-16	+11
2-1 貴社の坪当たりの構造材の平均加工単価はいくらですか。	全体平均: 5,200円 (前回: 5,200円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	8	85	8	±0	±0
3-2 3ヵ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	8	81	12	-4	-11
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	12	50	38	-26	+21
4-2 3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	12	50	38	-26	-8
5-1 今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	20	56	24	-4	-57
5-2 3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	8	50	42	-34	±0

*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好調、-の数値が大きいほど不調。

*前回調査: 令和8年2月

【調査結果の分析】

今月の受注額は好転、収益は悪化となりました。3ヵ月後は、受注額と収益ともに悪化する予測となりました。

- 1 今月の受注額は+4で好転しました。3ヵ月後は-16で悪化に転じる予測となりました。
- 2 今月の構造材の加工単価(全体平均)は5,200円で前回と同額となり、DIも±0となりました。
3ヵ月後は-4の悪化に転じる予測となりました。
- 3 今月の資材入手状況は-26の困難、3ヵ月後も-26で困難が継続する予測となりました。
- 4 今月の収益は-4と引き続き悪化しました。3ヵ月後は-34でさらに悪化する予測となりました。

新規会員のご紹介

この度、以下の「Hパートナー」様が、新たに賛助会員として協会に入会されましたので各位にご紹介します。

株式会社 Hパートナー

東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル2階

固定費の最適化で、継続的な利益改善を実現します

エネルギーコストをはじめとする固定費の見直しで、企業の経営体質を強化します。

1. 経営環境の変化と課題

コスト上昇が企業経営を圧迫

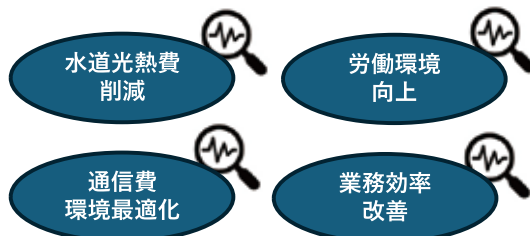


利益確保には
売上向上だけでなく、
「**固定費の適正化**」が重要



2. 当社のコンサルティング支援

固定費全般を最適化し、継続的な利益改善へ



単なる価格比較ではなく、
契約内容の見直し、運営状況、
将来計画を踏まえたご提案



3. 特に効果が大きい分野

プレカット工場・製材工場は、エネルギーコスト改善の余地が大きい



契約内容・運用方法の見直しによって
収益改善に繋がるケースが多数あります

単一工場から
複数拠点を運営されている
企業様まで幅広くご支援します



無料診断
実施中！

- ・今の契約内容は適正なのか？
- ・まだ削減できる余地はあるのか？

～ お気軽にご相談ください ～



株式会社Hパートナー 大手ダイレクト1部 今村
080-7202-3326 / tatsushi_imamura@po.hikari.co.jp